

平成27年 7月 3日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 筑波大学附属駒場高等学校・多尾奈央子

2. 講師氏名: Miklos Lajko 博士

3. 同行者氏名: 同行なし

4. 実施日時: 平成 27年 6月 27日 (土) 10:30 ~ 12:20

5. 参加生徒: 高校2年生 16人
備考: 総合学習選択講座でサイエンスダイアログ講座を選択した生徒

6. 講演題目: Budapest, Hungary / condensed matter / Monte Carlo methods

7. 講演概要:

- ✓ basics of the so-called Monte Carlo methods
- ✓ basics of random numbers and the idea of Monte Carlo methods
- ✓ applications for systems with localized magnetic moments

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

- (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 20 分
- (2) 講演方法: プロジェクター使用による講演
- (3) 通訳: なし
- (4) 事前学習時使用教材: 講師からの Presentation Summary。Summaryにある専門用語や研究分野に関する語句に担当者(多尾)が下線を付し、事前学習を指示。

10. 学校からの支給経費: 謝金

11. その他特筆すべき事項:

5日前に講義内容の summary をいただき、生徒に配布の上で主体的に講義内容について質問できるよう語句や関連分野の学習を促しました。受講者側の事前調査不足も否定できませんが、それを踏まえてもまだ講義内容が難しい。当日を迎えるまでも連絡を続け、①とにかく専門的内容の説明については日常的な例に当てはめてほしい、②話すスピードはゆっくり、③発話は clear に、④逐一生徒の表情を観察し、理解度確認して再度説明を加えたり、paraphrase したり、ポイントごとに質疑応答の時間を求めてほしいと依頼しました。当日お迎えした時も、会場後方で担当者が生徒の反応を見ながら slow down の合図を送る旨伝えました。それらを意識された上で講義をしていただき、よく生徒に理解をしているか確認していただいていたのですが、熱心に講義をいただく中でだんだんと話すスピードも速くなり、ついていけませんでした。